

科目 18

科目名	中小企業成長戦略 SME Growth Strategy		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・木・4 限	春・木・5 限	-	-
担当教員名	上村 孝樹	e-mail		
<p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>経済成長が鈍化しており、市場のグローバル化が進み、国内外の競争がますます激化。環境への配慮、地域社会の一員としての対応、働き方改革など企業活動に関する制約も増している。こうした状況で、中小企業やスタートアップ企業が市場で勝ち抜いて事業を継続させていくために必要なビジネス戦略や経営革新の要件を講義・事例解説・ディスカッション・リサーチ・レポート作成などから理解を深め実践で使える能力を身につけてもらう。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>「21 世紀市場の特質と日本の中小企業の特徴」「社会・経済環境の変化のキーワードと応戦略」「21 世紀市場で勝ち残る自立化戦略・市場開拓戦略」「ICT イノベーションの影響と対応策」を活用できるレベルで理解する。</p> <p>&lt;アクティブ・ラーニング要素&gt;</p> <p>奇数回は、約 80 分を講義や事例解説に充て、残りの 10 分は次回（偶数回）のために行ってもらった課題を説明する。偶数回は、約 90 分を前回授業で出された課題に対してディスカッション・発表やワークシートによる分析演習を行う。</p> <p>&lt;講義計画&gt;</p> <p>講義の進展度合いによって若干の変更がある場合は、SNS や講義の中でお知らせします。</p> <p>1 回目： 21 世紀市場の特質と攻略方法を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：20 世紀市場と 21 世紀市場の違いを明確に理解し、付加価値向上で勝ち残る戦略を学ぶ</li> </ul> <p>2 回目： ディスカッションと発表①競争市場の中でビジネスの付加価値を向上させる戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：「21 世紀市場と 20 世紀市場の違い」の図をベースにディスカッションする</li> </ul> <p>3 回目： 日本の中小企業の特徴と強みや弱点を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：中小企業の数、下請け構造、創業年数、老舗企業の特徴など理解する</li> </ul> <p>4 回目： ディスカッションと発表②老舗企業の強みを抽出して中小企業の課題を導き出す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：創立 200 年以上続く老舗企業を分析して生き残りの条件を導き出す</li> </ul> <p>5 回目： 311 震災後の社会・市場の変化がもたらす主要なキーワードと対応策を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：2011 年以降に大きく変革している日本の社会意識、市場の変化がもたらすキーワード解説</li> </ul> <p>6 回目： ディスカッションと発表③働き方改革、ダイバーシティに対応した持続可能な社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：働き方改革を実践している企業を分析し、その企業戦略をディスカッションする</li> </ul> <p>7 回目： 経営自立化の要件と、ビジネスモデル転換が市場開拓に成功し強い企業になった事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：完全下請けからの脱却した SUWADA、愛知ドビー、バーミキュラ、アースダンボール</li> </ul> <p>8 回目： ディスカッションと発表④下請けから完全脱出するビジネスモデル転換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ビジネスモデルを変え市場開拓に成功して完全下請けから脱却した企業を分析、発表</li> </ul> <p>9 回目： 少子高齢化で限界集落や消滅部落が激増、地域経済が危機を里山資本主義で復活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：新潟県の沼垂商店街、島根県の隠岐諸島の小島にある高校が 10 年で生徒数 2 倍に</li> </ul>				

10 回目：ディスカッションと発表⑤山間部や海に囲まれた僻地の経済を復活させる戦略を導く

・要点：岡山県真庭市、北海道下川町、鹿児島県「やねだん地区」、徳島県の「葉っぱのまち」

11 回目：地域経済の復活を図るために地元の IT 企業が支援し成功した例

・要点：長岡市の IT 会社、アテンドが地元の中小企業のビジネス復活を支援。魚沼市の「単品加工」

12 回目：ディスカッションと発表⑥アテンドの HP 構築とクラウドの運用サービスを分析

・要点：IT 人材がいない地元の零細企業に対して安価で HP を構築し運用まで請け負う仕組みを議論

13 回目：IT イノベーションの力をビジネスに活用する

・要点：5G、AI、VR、ドローンなど技術革新が急激に進む IT イノベーションの最新動向を解説

14 回目：ディスカッションと発表⑦AI、VR、ドローンなどを活用した企業が競争優位を創る

・要点：最新 IT 活用力を武器にビジネスを推進する中小企業をリサーチして成功の条件を議論する。

15 回目：他企業と差別化するブランディング戦略の効果的活用方法を学ぶ

・要点：ブランディング戦略立案シートで想定した企業のブランディング戦略を分析する

#### <講義の進め方>

講義、ディスカッション・発表を組み合わせで行います。ディスカッション・発表には、講義全体の約半分の時間を割く。

#### <事前事後学修内容>

15 回の講義で使用するテキストを事前に SNS にアップしておき、事前学習・事後学習のポイントを講義で指示します。

#### <予習・復習時間>

各回の予習・復習には計 4 時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をします。

#### <教科書及び教材>

講義テキスト、演習・分析シートなど講義で使う資料は SNS に掲載、講義で配布します。

#### <参考書>

21 世紀型中小企業の経営成功事例研究書として「IT 経営百選データブック 2」（上村孝樹編著）が、大学院の図書室にあります。

#### <成績評価方法>

欠席 6 回以上は成績評価しない。

成績評価は、期末試験レポートの評価配分が 75%、残り 25%が講義のディスカッションや発表への貢献度を評価する。

#### <課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

期末試験に関しての全体に対するフィードバックは SNS にアップする。

#### <履修条件>

パソコンを使用してディスカッションの課題に対してのリサーチができる人。ディスカッションで積極的に発言する人。期末試験レポートは、Word ファイルで回答文書ファイルを作成、上村にメール送信できる人。送信アドレスは、 [kamimura@kamimura-takaki.com](mailto:kamimura@kamimura-takaki.com)

#### <DVD による視聴> 可

#### <オフィスアワー>

非常勤講師のため、e-mail で連絡すること。

<その他>

講義で使用するテキスト資料は SNS にアップするので、予習・復習を十分行ってください。具体的な事例としてテキスト内に URL を表示している場合は、Web をアクセして情報を収集して理解を深めてください。